

玄関

上下足履き替え、上り框の段差が外出の障害となっている場合が多くみられます。身体機能に合わせて、手すり・腰かけ台・スロープなどにより、靴の履き替え、上り下りを容易にする工夫が必要です。

リフォーム指針

- 上り框及び靴履き替え部分に手すりや式台ベンチを設ける。
- 床仕上は、濡れても滑りにくい材料とする。
- 玄関戸は、できる限り引き戸とし、有効80cm以上とする。

★改造のアドバイス

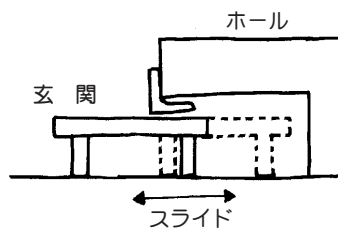
手すりや踏み台がぐらつかないように、しっかりと固定すること。

改造のポイント

使用しないときは、スライドさせてホール下に収納する。

★改造のアドバイス

スライド式のため固定度が足りないため、安定性のある構造とすること。



改造のポイント

介助者がいるので、移動式スロープにて段差解消する。

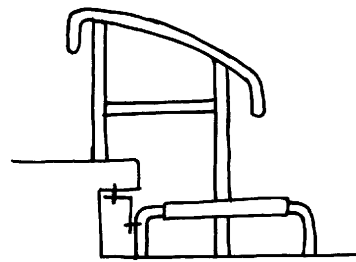
★改造のアドバイス

できるだけ幅広のものを選ぶこと。

(注) 取り放しタイプの物は、介護保険の対象外の場合もあるので介護保険窓口にご確認ください。



◀玄関の段差を踏み台と手すりにて登りやすくする



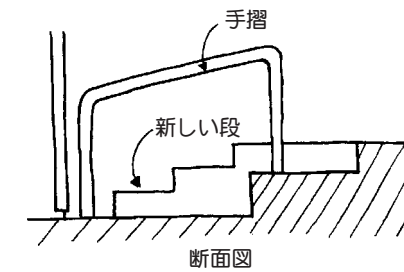
スライド式の踏み台▶



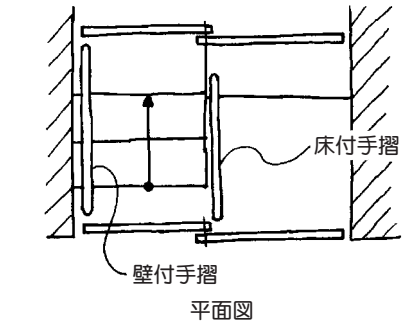
◀移動式のスロープ



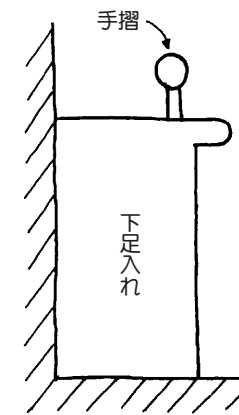
▲玄関の段差に階段と手すりを設置する



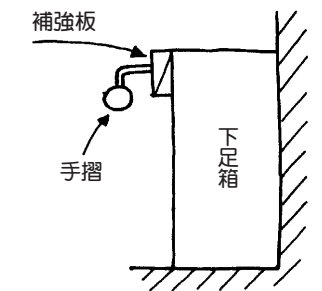
断面図



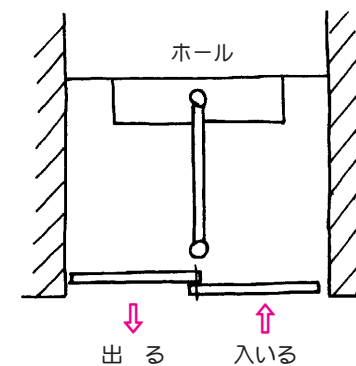
平面図



▲下足箱の上に手すりを設置



▲下足箱の横に手すりを設置



出る 入る



▲玄関の中央に床付手すりを設置

改造のポイント

- 両側に手すりを設置。
(登り降りともに、どちらかの手が不自由でもつかみやすい方の手でつかむことができる。)
- 段差が大きいと昇降が大変なので、新しい階段を設けて段差を穏やかにする。

★改造のアドバイス

床材は、滑りにくい素材とすること。

改造のポイント

下足箱が壁や床などにしっかりと固定しているか、確認のこと。

★改造のアドバイス

取付部分の板厚が不足している場合は、補強板を取付後、手すりを設置。

改造のポイント

玄関の中央につけることにより、両側につけたことと同じ状態になる。